２０２４年度

大学院学生募集要項

博 士 前 期 課 程
（一般・社会人入学試験）

青　山　学　院　大　学
大学院社会情報学研究科

社会情報学研究科及び入学試験情報の概要は、
青山学院大学の公式ウェブサイト（https://www.aoyama.ac.jp/）で紹介しています。

青山学院教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、
神と人とに仕え社会に貢献する
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって
自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。
本学のすべての教員、職員、学生は、
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、
おのおのの立場において、時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

個人情報の取り扱いについて

出願に際してお知らせいただいた住所、氏名、生年月日等の個人情報は、①願書受付、②入学試験実施、③合格発表、④入学手続きとこれに付随する業務を行うために利用します。

青山学院大学大学院社会情報学研究科　教育研究上の目的

人材養成上の目的

インターネットやウェブに象徴される現代社会では、情報システムそのもの、情報システムと人や組織との係わり方、あるいは人や組織や社会そのものに係わった明暗様々な問題が止め処なく噴出し顕在化している現状があり、そのような問題の本質を見抜き、自らが問題解決を図れる人材の養成が火急の課題となっている。明らかに、そのような人材の養成は、学部レベルの教育に加えて、更に広い視野に立って精深な学識を授け、社会情報学分野における研究能力を、あるいはその学識に加えて高度の専門性を求められる職業を担うための卓越した能力を有する高度な人材養成を目的とする社会情報学分野の博士レベルの教育体制を整備することにより達成できると考えられ、このような目的を達成するために社会情報学研究科は設置されている。

教育目標

知識基盤社会が抱える輻輳した社会問題を認識し、理学、情報科学、経済学、教育学といった多様な観点から自らが総合的･包括的に問題解決を図れる人材を､既設学部の卒業生のみならず、問題意識を実社会において体感している職業人を入学者と想定して教育にあたることを目的とする。この目的を達成するために、本研究科には社会情報学コースとヒューマンイノベーションコースを置くが（これらのコースの詳細は後述）、前者においてはどちらかと言うと文系、理系という枠組みを超えた視点から問題解決を図ることのできる能力を身につけた高度の人材を養成することが狙いであるのに対して、後者は既に職業人として問題意識を有している者に対して、言わばリカレント教育を授けることにより、自らが問題解決を図れる能力を身につけた人材を養成しようとするところが異なる。しかしながら、そのような違いはあれ、社会情報学研究科の狙いは、人材養成上の目的欄（前述）で示したとおりであり、具体的には次に掲げる「履修モデル」を通して教育目標がどこにあるのか例示する。

■ 履修モデル１

履 修 モ デ ル 名：数理・情報に関して精深な学識を有する高度なアナリストの養成

履修モデルの趣旨：社会科学系の高度な人材養成を目指した履修モデルである。経営・経済概念の深い理解、社会活動、経済活動の分析を重視している。社会政策領域では経済政策の担い手の養成に役立つこと、金融ファイナンス領域では金融アナリストの養成を念頭に置いている。文理融合の本コースだからできることとして、理論と実践の融合により情報技術を駆使した大量データの分析、論理的な取り組みや理論的背景を理解させる教育課程により、「なぜ？」の説明ができる高度な人材の養成を念頭に置いている。

■ **履修モデル 2**

履 修 モ デ ル 名：人間・社会・情報に関して精深な学識を有する高度な組織マネジャの養成

履修モデルの趣旨：人間・社会・情報融合系の高度な人材養成を目指した履修モデルである。人や社会を考える上で必要となる心理や教育に関する基盤の修得、数量的なものに限らず質的な情報の処理能力の修得を目指している。人間・社会・情報融合系からの展開では、人と人、社会と人のコミュニケーションのあり方や組織の設計、組織における意思決定や知識の有効な活用法、経済活動がもたらす人間社会への問題の発見と解決能力の養成に留意し、本コースだからできることとして、経済活動と直結した人間心理の解明、企業や政策における人的要素の解明、そして知識基盤社会が人間に及ぼすさまざまな影響の解明ができる高度な人材の養成を目指している。

■ **履修モデル 3**

履 修 モ デ ル 名：組織に関して精深な学識を有する高度な情報システムスペシャリストの養成

履修モデルの趣旨：情報科学系の高度な人材養成を目指した履修モデルである。数理的な基盤、情報を高度に利用するための基盤の修得や、情報システム構築のための幅広い素養を身につける。情報科学系からの展開としては、人や社会に関する問題を理解できる数学・情報教育の担い手の養成、情報通信技術を駆使した地域社会創生の担い手の養成、高度な情報システム設計能力を持つシステムエンジニアの養成等を念頭に置いている。加えて、本コースだからできることとして、組織や心理を理解したシステムエンジニアの養成、企業や政策を理解したシステムエンジニアの養成、社会ニーズの技術への反映を意識できるシステムエンジニアの養成等がその特色となる。

■ **履修モデル 4**

履 修 モ デ ル 名：学習のサイエンスとデザインの学識と実践力を持った非営利組織系の高度な人材養成

履修モデルの趣旨：医療看護、介護福祉、アート、教育など、さまざまな公益・非営利団体系の人材像を想定した履修モデルである。持続可能な社会における公共性の担い手として、共同体への参加そのものが学習であり、高度な知性が創発されることを知り、これらとワークショップデザインや学習環境デザインが深く関係していること等、真の学びから生成されることを学習する。そして、人と人、人と組織・集団、人と地域社会、組織・集団と地域社会を結びつける能力や職場の在り方や活動を見直したり、再構成したり、組織変革ができる能力を有する高度で実践的な人材の養成を目指している。

■ **履修モデル 5**

履 修 モ デ ル 名：学習のサイエンスとデザインの学識と実践力を持った企業法人系の高度な人材養成

履修モデルの趣旨：企業法人系の人材像を想定した履修モデルである。組織内・組織間での協働を活性化する創造的な組織デザイン、組織活動を成功に導く人材育成のための学習システムの開発やファシリテーション技法などについて専門的かつ実践的な能力を有する人材の養成をめざしている。

教育課程

社会情報学分野の人材に求められる専門性については、社会情報学を究めようと欲する者の 2 つの側面に着目して、体系的な教育を展開する。一つは、社会情報学をより専門性を高めて精深に授けることにより当該分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担える人材を養成するという一般的な側面であり、もう一つは、特に入学する者が既に学校機関、公益・非営利団体、企業法人等の領域にフィールドを持っている「職業人」に対しては、学習集団や組織を自律的に動かすために必要な協働的な組織環境や学習環境のデザイン能力、あるいはお互いに学び合い創発し合うコミュニケーションの促進能力を備えた人材を養成するという側面を有すると考えられる。具体的には、これら 2 つの側面に留意して、社会情報学研究科は全体としては１つの専攻（社会情報学専攻）に２つの専修コース「社会情報学コース」と「ヒューマンイノベーションコース」を設けている。専修コースの内容は以下のとおりである。

社会情報学コース ：

人文･社会科学と理学･情報科学が融合して出来上がる社会情報学をより高度に学ぶということは、いわゆる文系、理系の枠を超えた識見を有することであるとの認識により、現代社会が抱えるさまざまな問題点を自分の力で見つけて、問題解決できる人材を養成できると考えられる。このような能力は、現代の輻輳した社会において、ファイナンス関連、経済や地域政策関連、情報システム関連等、あらゆる分野で活躍しようとする人々にとって必要不可欠なものとなっている。従って、このコースでは社会情報学に対して広い視野に立って精深な学識を身につけ、当該分野における研究能力又はこれに加えて高度に専門的な職業を担える人材が養成できる。

ヒューマンイノベーションコース ：

さまざまな現場の「学び」をめぐる課題・可能性を、実証的な方法で読み解き、それを人・組織･社会の変革=イノベーションへと結びつけることのできる人材の育成に重点を置いたコースである。認知科学を中心とした人・組織の「学び」に関する最先端の理論と研究方法を理解し、それを人材育成、組織変革、学校教育、医療・看護、地域活性化、コンサルテーション、NPO 活動、行政サービスなどさまざまな現場の実証的かつ実践的な解明に結びつけることのできる、高度な研究力量を身につけることを目指す。

教育研究環境

社会情報学研究科は開かれた大学院として、社会情報学コースでは一般に広く既存の学部卒業生を入学者と想定しているのに対して、ヒューマンイノベーションコースでは主として学校機関、公益・非営利団体、企業法人等の領域にフィールドを既に持っている職業人の入学を想定している点が異なる。その違いは、いずれのコースを修めようとも、徹底した少人数教育を行える点では顕在化しないが、社会情報学コースにあっては、基礎科目、専門科目、特殊科目、研究指導を履修していくに際して、特殊科目ではインターンシップを自由科目として設定し、現実社会での問題点を体感して、社会情報学が取り組むべき問題を自らが発見し、問題解決に取り組む学生の育成に留意している。本コースの学生は、相模原キャンパスで展開される科目を履修し、修了にあたっては修士論文を課している。一方、主として職業人の入学を想定しているヒューマンイノベーションコースにあっては、現場の理解とイノベーションの基礎となる認知科学関連科目の履修を勧めることは当然として、特に演習科目・実習科目において、フィールド学習を積極的に取り入れた多様な教育方法を展開することにより、専門的な知識や技能の習得と実践的な現場理解を統合的に捉えられる学生の育成に留意している。本コースの学生は青山キャンパスで展開される科目を履修すると共に、情報通信技術(ICT)を用いた学習支援の整備を徹底して、職業人である学生の教育の質保証を図る。本コースでは、修士論文、若しくは特定の課題についての研究の成果を課している。

社会情報学研究科 博士前期課程 3つのポリシー

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

①知識・技能
・研究テーマに関連する学部卒業相当の知識および技能を有している。

②思考力・判断力・表現力
・学部卒業相当のレベルで研究計画の立案、研究の実施、論文の執筆ができる。

③意欲・関心・態度
・「人間、社会、情報」が複雑に絡み合った現代社会の諸問題に関心をもち、その解決を自身の研究テーマと結びつけて考える意欲を有している。
・研究倫理を遵守すること、および研究成果を社会的に還元することの重要性を理解している。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

①知識・技能
・「人間、社会、情報」が複雑に絡み合った現代社会の諸問題を理解するための基礎的な素養である英語関連科目と、社会科学系、情報科学系、人間科学系の複数の教員が共同で担当することで現代社会に対する多角的な視点を提供する「社会情報学特論」を課程全体の基礎科目として配置する。
・社会情報学コースでは、社会科学系、情報科学系、人間科学系の各領域に対して、社会情報学部での学びの延長線上に特論科目を専門科目として配置する。あわせて複数領域を跨ぐ履修モデルを提供することで、従来の学問領域の枠にとらわれない幅広い視野で現代社会の諸問題に多視点的にアプローチできる専門的な知識と技能の獲得を目指す。
・ヒューマンイノベーションコースでは、認知科学の基礎を理解するための概論科目、研究に関わる一連の技法の習得を目指す実習科目を基礎科目として配置したうえで、現場における学習現象の分析・理解に有用な専門科目を精選して配置することで、学習現象に対する科学的な理解と、現場についての実践的な理解を密接に連関させて研究を進めることのできる力量の形成を目指す。

②思考力・判断力・表現力
・「人間、社会、情報」の各領域を跨ぐ複雑な現象に学術的にアプローチしていくための分析の進め方や発想の仕方、および研究成果の効果的な発表方法などを、研究指導教員による個別指導を通して学ぶ研究指導科目を配置する。

③意欲・関心・態度
・研究指導科目における指導教員の個別指導を通して研究倫理、社会貢献に関する知識と意識を高めることを目指す。
・研究と実社会との接続を具体的に考える機会として「インターンシップ特別実習」を特殊科目として配置する。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

①知識・技能
・「人間、社会、情報」が複雑に絡み合った現代社会の諸問題を分析的に把握し解決を試みるために必要な学術的知識・技能を身につけている。その上で 1 つ以上の専門領域について、十分理解できる。
・社会情報学コースにおいては数理的素養、論理的思考、コミュニケーション能力および情報

の活用に関する十分な知識・技能を身につけている。
・ヒューマンイノベーションコースにおいては「学習」および「組織・コミュニティ」に関する理論と研究方法について、十分な知識・技能を身につけている。

②思考力・判断力・表現力
・「人間、社会、情報」が複雑に絡み合った現代社会の諸問題の解決を多角的に検討することのできる複眼的な思考力・判断力を有している。
・学術研究について、専門を共有していない相手に対しても的確かつ分かりやすく説明することのできる表現力を有している。

③意欲・関心・態度
・研究テーマに直接関連する事象だけではなく、より広い社会の諸問題を視野に入れて学習・研究を進めることができる。
・研究倫理を遵守して研究に取り組むことができる。
・研究成果を広く社会に還元する意欲を持っている。

他研究科および各専攻の教育研究上の目的やポリシーは、本学ウェブサイトにてご確認ください。
https://www.aoyama.ac.jp/

教 員 組 織

<u>大学院社会情報学研究科</u>　　研究科長　　宮川　裕之

社会情報学コース（コンビナー：　寺尾　敦　・　村田　和義　　※五十音順）

氏名の前の〇印は 2024 年度入学者の研究指導教員

※原則、出願前に希望指導教員へ事前連絡を取る事

氏　名			講　義　科　目（予定）
教　授	○	飯島　泰裕	情報社会特論　コンピュータシステム特論
	~~○~~	石田　博之	環境エネルギー情報特論　経済シミュレーション特論
	○	伊藤　一成	データベースシステム特論　ウェブテクノロジー特論
	○	伊藤　由樹子	応用経済特論Ⅰ　社会人間特別講義（C）
		稲積　宏誠	データマイニング特論　ナレッジマネジメント特論
	○	清成　透子	組織心理学特論　行動科学特論
	○	寺尾　敦	社会統計特論　ウェブラーニング特論
	○	長橋　透	経済政策特論　応用経済特論Ⅱ
	○	伏屋　広隆	確率統計特論　数理ファイナンス特論
	○	宮川　裕之	社会情報特別講義（B）　情報システム計画特論
	○	宮治　裕	プログラミング応用特論　コンピュータネットワーク特論
	○	村田　和義	ヒューマンインタフェース特論　人間情報特別講義（B）
		居駒　幹夫	社会情報特別講義（D）
		Lambacher, S. G.	学術英語特論（A）
准教授	○	大林　真也	社会調査特論　社会変動特論
	○	髙村　正志	現象の数理特論　構造幾何学特論
	○	南部　和香	環境エネルギー経済特論　公共経済学特論
	○	松澤　芳昭	システム分析･設計特論　社会情報特別講義（C）
	○	皆木　健男	コーポレートファイナンス特論　インベストメント特論
		米山　明日香	イングリッシュプレゼンテーション特別演習（A）

ヒューマンイノベーションコース（コンビナー：　高木　光太郎　）

氏名の前の〇印は 2024 年度入学者の研究指導教員

※原則、出願前に希望指導教員へ事前連絡を取る事

氏　名			講　義　科　目（予定）
教授	〇	高木　光太郎	状況的学習特論　　状況的学習実践研究 学習学研究法Ⅰ　　学習学研究法Ⅱ 学習学原論
准教授	〇	香川　秀太	学習と活動の心理学

その他講義科目（予定）

社会情報学コース	ヒューマンイノベーションコース
社会情報特別演習	アフォーダンス実践研究
社会情報学特論	人間理解のための現象学入門
社会情報特別講義（A）	社会システム特論
社会情報特別講義（D）	学術英語特論（B）
社会人間特別講義（D）	創造的熟達論
社会人間特別講義（E）	非営利組織の知識経営
人間情報特別講義（A）	未来洞察によるシナリオ作成
人間情報特別講義（D）	知識生成のグループ・ダイナミックス
	学習学研究法Ⅲ
	学習学研究法Ⅳ

社会情報学研究科博士前期課程 一般入試

学　　位

本大学院において授与する修士の学位は次のとおりです。

社会情報学研究科社会情報学専攻　博士前期課程　　修士（学術）

募集人員

社会情報学専攻博士前期課程

社会情報学コース	１５名	（就学キャンパス：相模原）
ヒューマンイノベーションコース	若干名	（就学キャンパス：青　山）

出願資格

以下の１.～８.のいずれかに該当するもの。

１．大学を卒業した者及び 2024 年 3 月卒業見込みの者
２．大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び 2024 年 3 月取得見込みの者
３．外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2024 年 3 月修了見込みの者
４．外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2024 年 3 月修了見込みの者
５．日本において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2024 年 3 月修了見込みの者
６．専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び 2024 年 3 月修了見込みの者
７．文部科学大臣の指定した者
８．本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時 22 歳に達した者

入学資格審査

出願資格８.により出願しようとする者は、出願書類を提出する前に入学資格認定のための審査を受ける必要があります。この場合、事前に社会情報学研究科担当（TEL 042-759-6072）に連絡し、次の書類を提出してください。

入学資格審査申請期間：　**第１期　2023 年 7 月 14 日（金）必着**
　　第２期　2023 月 11 月 24 日（金）必着

提　出　書　類：　(1)入学志願票（本学所定用紙）
　　(2)最終学歴の成績証明書
　　(3)最終学歴の卒業証明書あるいは在籍証明書
　　(4)入学資格審査申請書（様式は任意）
　　学習歴・実務経験・研究歴等を記載し、資料を添付してください。

※提出書類は必ず簡易書留・速達郵便で、「入学資格審査書類在中」と朱書きしてください。
※(1)～(3)については、入学資格審査認定後、出願書類として取り扱いますので、出願時に再提出する必要はありません。
※「出願用封筒表紙」を使用する必要はありません。

出願書類＊22 ページ注意事項１参照

１．入学志願票（本学所定用紙）　**必ずコースを選択してください。**
　※原則、出願前に希望指導教員へ事前連絡を取る事
　（学務担当者：in-gssi@aoyamagakuin.jp）
２．最終出身校の卒業（見込）証明書、成績証明書
　※最終出身校に編入学した者は、編入学以前の大学、短期大学の証明書も提出してください。(本学編入学者も対象です。)
　※本学の証明書は学務課で代理発行するため、提出不要です。
３．写真１枚（脱帽上半身、背景なし、ﾀﾃ４㎝×ﾖｺ３㎝、カラー写真、最近３ヵ月以内撮影
　入学志願票の所定欄に貼付）
４．外国籍者は在留カード（外国人登録証明書）又はパスポートのコピー
　※日本語を母語としない者は、「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」を提出してください。
５．入学検定料の「収納証明書」または「振込通知書」（本学所定用紙：金融機関の収納印の押されたもの）
（※コンビニエンスストアまたはクレジットカードで支払う場合）
　支払いの際に発行される「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」を貼付用紙（本学所定用紙）に貼り付けて提出してください。
（※金融機関から振込む場合）
　金融機関で入学検定料を振り込んだ際に受け取った振込通知書（大学院提出用）を、貼付用紙（本学所定用紙）に貼り付け提出してください。金額が訂正されたものや収納印のないものは無効です。
６．研究計画書
　入学後の研究計画を、A4 版、横書き、2000 字程度でワープロを用いて作成してください。必ず記名してください。また、複数枚に渡る場合はそのすべてに記名をしてください。
７．受験票送付用封筒１通　**※封筒種類に注意**
　【長形 3 号封筒（120 ㎜×235 ㎜）】
　必ずボールペンにて**住所・氏名を明記**のうえ、**84 円切手を貼付**してください。
８．宛先ラベル　※合格した場合の書類送付先をご記入ください。

入学検定料

　３５，０００円

支　払　方　法
１．コンビニエンスストアまたはクレジットカードでのお支払
　19 ページ「コンビニ端末での入学検定料支払方法」または
　20 ページ「クレジットカードでの入学検定料支払方法」を参照のうえ、お支払いください。
２．金融機関からのお振込み
　指定の振込依頼書を使用し、郵便局・ゆうちょ銀行以外の日本国内の金融機関窓口より振り込んでください（ATM 及びインターネットバンキング等は不可）。
　なお、出願期間最終日を過ぎると振り込みできません。窓口時間にご注意ください。
　振込通知書（大学院提出用：銀行の収納印の押されたもの）は本学所定用紙に貼付し、出願書類に同封してください。
３．出願受付後、入学検定料は原則返還いたしません。

出願手続および期間

出願はすべて郵送受付とします。

第１期

〔受付期間〕
2023 年 8 月 14 日（月） ～ 8 月 16 日（水）

出願書類一式を角形 2 号封筒（240×332mm）に入れ、**簡易書留・速達**で郵送してください。
郵送の際は、封筒の表に必要事項を記入した**所定の出願用封筒表紙を貼り付けてください。**

〔注意事項〕
1．**消印有効です。**受付期間を過ぎた消印のものは受理せず返送します。
2．必ず簡易書留・速達とし、出願書類一式を同封のうえ送付してください。**受験票は、本人宛に郵送します。**ただし、受付事務・郵便事情等により返送が多少遅れることがあります。試験日の 3 日前までに届かない場合には、学務課(042-759-6072)までお問合せください。
3．**一旦受け付けた出願書類、入学検定料は返還しません。**
4．出願用封筒表紙は、カラーで印刷してください。白黒印刷の場合は上部「速達」部分を赤線で囲んでください。

第２期

〔受付期間〕
2024 年 1 月 9 日（火） ～ 1 月 11 日（木）

出願書類一式を角形 2 号封筒（240×332mm）に入れ、**簡易書留・速達**で郵送してください。
郵送の際は、封筒の表に必要事項を記入した**所定の出願用封筒表紙を貼り付けてください。**

〔注意事項〕
1．**消印有効です。**受付期間を過ぎた消印のものは受理せず返送します。
2．必ず簡易書留・速達とし、出願書類一式を同封のうえ送付してください。**受験票は、本人宛に郵送します。**但し、受付事務・郵便事情等により返送が多少遅れることがあります。試験日の 3 日前までに届かない場合には、学務課(042-759-6072)までお問合せください。
3．**一旦受け付けた出願書類、入学検定料は返還しません。**
4．出願用封筒表紙は、カラーで印刷してください。白黒印刷の場合は上部「速達」部分を赤線で囲んでください。

〔送付先〕　※出願時には所定の出願用封筒表紙を使用してください。

青山学院大学　相模原事務部　学務課　社会情報学研究科担当　行
〒252-5258　神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1　TEL 042-759-6072（ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）

入学試験日

第１期　　**2023 年 9 月 2 日（土）**

第２期　　**2024 年 1 月 27 日（土）**

※今後の世の中の状況（感染症等）につき、日程が変更になる可能性もあります

入学試験場

試験は、**青山学院大学　青山キャンパスもしくは相模原キャンパス**で実施します。

なお、試験教室等の詳細は、出願後にお知らせします。

※今後の世の中の状況（感染症等）につき、変更になる可能性もあります

試験科目および試験時間

入学試験の試験科目は、「英語」、「小論文」(選択コースごとに出題)及び「口述試験」です。
なお、選考にはさらに「書類審査」が加わります。

試験時間は、第 1 期、第 2 期ともに以下の通り（予定）です。

英　　語	:	9:30 ～ 10:30
小 論 文	:	11:00 ～ 12:00
口述試験	:	13:00 ～

合格発表(WEB)

合格発表を以下の通り、本学 WEB サイトにて行います。

第１期　　**2023 年 9 月 13 日（水）　発表予定**

第２期　　**2024 年 2 月 14 日（水）　発表予定**

合格者のみ、入学手続き書類をお送りいたします。宛先は出願時に提出いただく宛先ラベル記載箇所となりますので、間違いのないように正確に記載してください。

WEB 合格発表から 5 日経ち、合格者一覧に記載があるにも関わらず書類が届かない場合は、学務課　社会情報学研究科担当に問合せてください。

「入学手続書類」の不着、遅配等の事故を理由とした入学手続期間の延長は認めません。

※合格発表は以下本学 WEB サイトで行います。必ず受験結果の合否をご確認ください。
大学院入学試験等に関するお知らせ ｜ 青山学院大学 (aoyama.ac.jp)
https://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/information/index.html

入学手続

合格者には入学手続書類を郵送いたします。所定の期間内に手続書類を郵送して入学手続を完了してください。入学手続に関する詳細は、郵送する「入学手続要項」でご確認ください。

なお、期間中に手続きをしない者は入学を辞退したものと見なします。

「入学手続書類」の不着、遅配等の事故を理由とした入学手続期間の延長は認めません。

第１期　　第１次入学手続締切日：　**2023 年 11 月 8 日（水）**
　　第２次入学手続締切日：　**2024 年 3 月 1 日（金）**

消印有効です。締切日を過ぎた消印のものは受理せず返送します。
必ず簡易書留郵便とし、手続書類一式を同封のうえ送付してください。

第２期　　入学手続締切日：　**2024 年 3 月 1 日（金）**

消印有効です。締切日を過ぎた消印のものは受理せず返送します。
必ず簡易書留郵便とし、手続書類一式を同封のうえ送付してください。

社会情報学研究科博士前期課程　社会人入学試験

学　　位

本大学院において授与する修士の学位は次のとおりです。

社会情報学研究科社会情報学専攻　博士前期課程　　修士（学術）

募集人員

社会情報学専攻博士前期課程

ヒューマンイノベーションコース	１５名	（就学キャンパス：青　山）
社会情報学コース	若干名	（就学キャンパス：相模原）

出願資格

以下の１.～８.のいずれかに該当し、社会人経験が 2023 年 4 月 1 日時点で 3 年以上ある者。
（注：2024 年 3 月までに該当する見込みの者を含む。）
なお、社会人経験は職歴に限定しない。（企業・団体での就業以外に、ボランティア等を含む。）

１．大学を卒業した者
２．大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者
３．外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
４．外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
５．日本において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
６．専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
７．文部科学大臣の指定した者
８．本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時 22 歳に達した者

入学資格審査

出願資格８．により出願しようとする者は、出願書類を提出する前に入学資格認定のための審査を受ける必要があります。この場合、事前に社会情報学研究科担当（TEL 042-759-6072）に連絡し、次の書類を提出してください。

入学資格審査申請期間：　**第１期　2023 年 7 月 14 日（金）必着**
第２期　2023 月 11 月 24 日（金）必着

提　出　書　類：
(1)入学志願票（本学所定用紙）
(2)最終学歴の成績証明書
(3)最終学歴の卒業証明書あるいは在籍証明書
(4)入学資格審査申請書（様式は任意）
学習歴・実務経験・研究歴等を記載し、資料を添付してください。

※提出書類は必ず簡易書留郵便とし、入学資格審査書類在中と朱書きしてください。
※(1)～(3)については、入学資格審査認定後、出願書類として取り扱いますので、出願時に再提出する必要はありません。
※「出願用封筒表紙」を使用する必要はありません。

出願書類＊22 ページ注意事項１参照

１．入学志願票（本学所定用紙）　**必ずコースを選択してください。**
※原則、出願前に希望指導教員へ事前連絡を取る事
（学務担当者：in-gssi@aoyamagakuin.jp）
２．最終出身校の卒業（見込）証明書、成績証明書
※編入学した者は編入学以前の証明書も提出してください。
※本学の証明書は学務課で代理発行するため、提出不要です。
３．写真１枚（脱帽上半身、背景なし、ﾀﾃ４㎝×ﾖｺ３㎝、カラー写真、最近３ヵ月以内撮影
入学志願票の所定欄に貼付）
４．外国籍者は在留カード（外国人登録証明書）又はパスポートのコピー
※日本語を母語としない者は、「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」を提出してください。
５．入学検定料の「収納証明書」または「振込通知書」（本学所定用紙：金融機関の収納印の押されたもの）
（※コンビニエンスストアまたはクレジットカードで支払う場合）
支払いの際に発行される「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」を貼付用紙（本学所定用紙）に貼り付けて提出してください。
（※金融機関から振込む場合）
金融機関で入学検定料を振り込んだ際に受け取った振込通知書（大学院提出用）を、貼付用紙（本学所定用紙）に貼り付け提出してください。金額が訂正されたものや収納印のないものは無効です。
６．研究計画書
入学後の研究計画を、A4 版、横書き、2000 字程度で作成してください(タイピング推奨)。必ず記名してください。また、複数枚に渡る場合はそのすべてに記名してください。
７．社会人経験説明書（書式自由）
８．受験票送付用封筒１通　**※封筒種類に注意**
【長形 3 号封筒（120 ㎜×235 ㎜）】
必ずボールペンにて**住所・氏名を明記**のうえ、**84 円切手を貼付**してください。
９．宛先ラベル ※合格した場合の書類送付先をご記入ください。

入学検定料

３５，０００円

支　払　方　法

１．コンビニエンスストアまたはクレジットカードでのお支払
20 ページ「コンビニ端末での入学検定料支払方法」または
21 ページ「クレジットカードでの入学検定料支払方法」を参照のうえ、お支払いください。

２．金融機関からのお振込み
指定の振込依頼書を使用し、郵便局・ゆうちょ銀行以外の日本国内の金融機関窓口より振り込んでください（ATM 及びインターネットバンキング等は不可）。
なお、出願期間最終日を過ぎると振り込みできません。窓口時間にご注意ください。
振込通知書（大学院提出用：銀行の収納印の押されたもの）は本学所定用紙に貼付し、出願書類に同封してください。

３．出願受付後、入学検定料は原則返還いたしません。

出願手続および期間

出願はすべて郵送受付とします。

第１期

〔受付期間〕
2023 年 8 月 14 日（月） ～ 8 月 16 日（水）

出願書類一式を角形 2 号封筒（240×332mm）に入れ、**簡易書留・速達**で郵送してください。郵送の際は、封筒の表に必要事項を記入した**所定の出願用封筒表紙を貼り付けてください。**

〔注意事項〕
1．**消印有効です。**受付期間を過ぎた消印のものは受理せず返送します。
2．必ず簡易書留・速達とし、出願書類一式を同封のうえ送付してください。**受験票は、本人宛に郵送します。**但し、受付事務・郵便事情等により返送が多少遅れることがあります。
3．**一旦受け付けた出願書類、入学検定料は返還しません。**
4．出願用封筒表紙は、カラーで印刷してください。白黒印刷の場合は上部「速達」部分を赤線で囲んでください。

第２期

〔受付期間〕
2024 年 1 月 9 日（火） ～ 1 月 11 日（木）

出願書類一式を角形 2 号封筒（240×332mm）に入れ、**簡易書留・速達**で郵送してください。郵送の際は、封筒の表に必要事項を記入した**所定の出願用封筒表紙を貼り付けてください。**

〔注意事項〕
1．**消印有効です。**受付期間を過ぎた消印のものは受理せず返送します。
2．必ず簡易書留・速達とし、出願書類一式を同封のうえ送付してください。**受験票は、本人宛に郵送します。**但し、受付事務・郵便事情等により返送が多少遅れることがあります。
3．**一旦受け付けた出願書類、入学検定料は返還しません。**
4．出願用封筒表紙は、カラーで印刷してください。白黒印刷の場合は上部「速達」部分を赤線で囲んでください。

〔送付先〕 ※出願時には所定の出願用封筒表紙を使用してください。

青山学院大学 相模原事務部 学務課 社会情報学研究科担当 行
〒252-5258 神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1 TEL 042-759-6072（ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）

入学試験日

第１期 **2023 年 9 月 2 日（土）**

第２期 **2024 年 1 月 27 日（土）**

※今後の世の中の状況（感染症等）につき、日程が変更になる可能性もあります

入学試験場

試験は、**青山学院大学　相模原キャンパスもしくは青山キャンパス**　で実施します。
なお、試験教室等の詳細は、出願後にお知らせします。
※今後の世の中の状況（感染症等）につき、変更になる可能性もあります

試験科目および試験時間

入学試験の試験科目は、「小論文」（選択コースごとに出題）及び「口述試験」です。
なお、選考にはさらに「書類審査」が加わります。

試験時間は、第１期、第２期ともに以下の通り（予定）です。

小 論 文　　：　11:00 ～ 12:00

口述試験　　：　13:00 ～

合格発表(WEB)

合格発表を以下の通り、本学 WEB サイトにて行います。

第１期　　**2023 年 9 月 13 日（水）　発表予定**

第２期　　**2024 年 2 月 14 日（水）　発表予定**

合格者のみ、入学手続書類をお送りいたします。宛先は出願時に提出いただく宛先ラベル記載箇所となりますので、間違いのないように正確に記載してください。
WEB 合格発表から 5 日経ち、合格者一覧に記載があるにも関わらず書類が届かない場合は、学務課　社会情報学研究科担当に問合せてください。
「入学手続書類」の不着、遅配等の事故を理由とした入学手続期間の延長は認めません。

※合格発表は以下本学 WEB サイトで行います。必ず受験結果の合否をご確認ください。
大学院入学試験等に関するお知らせ ｜ 青山学院大学（aoyama.ac.jp)
https://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/information/index.html

入学手続

合格者には入学手続書類を郵送いたします。所定の期間内に手続書類を郵送して入学手続を完了してください。入学手続に関する詳細は、郵送する「入学手続要項」でご確認ください。
なお、期間中に手続きをしない者は入学を辞退したものと見なします。
「入学手続書類」の不着、遅配等の事故を理由とした入学手続期間の延長は認めません。

第１期　　第１次入学手続締切日：　**2023 年 11 月 8 日（水）**
　　第２次入学手続締切日：　**2024 年 3 月 1 日（金）**

消印有効です。締切日を過ぎた消印のものは受理せず返送します。
必ず簡易書留郵便とし、手続書類一式を同封のうえ送付してください。

第２期　　入学手続締切日：　**2024 年 3 月 1 日（金）**

消印有効です。締切日を過ぎた消印のものは受理せず返送します。
必ず簡易書留郵便とし、手続書類一式を同封のうえ送付してください。

コンビニ端末での入学検定料支払方法

下記のコンビニ端末にてお支払いください

1 お申込み

セブン-イレブン マルチコピー機

https://www.sej.co.jp

最寄りの「セブン-イレブン」にある「マルチコピー機」へ。

TOP画面の「**学び・教育**」よりお申込みください。

学び・教育
↓
入学検定料等支払
▼

LAWSON Loppi / MINISTOP Loppi

https://www.lawson.co.jp　https://www.ministop.co.jp

最寄りの「ローソン」「ミニストップ」にある「Loppi」へ。

TOP画面の「**各種サービスメニュー**」よりお申込みください。

「各種申込(学び)」を含むボタン
↓
学び・教育・各種検定試験
↓
大学・短大、専門、
小・中・高校等お支払い
▼

▼

お申込みの大学 をタッチし、申込情報を入力して「**払込票／申込券**」を発券ください。

＊画面 ボタンのデザインなどは予告なく変更となる場合があります。

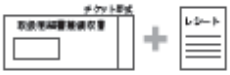
2 お支払い

①コンビニの**レジ**でお支払いください。

端末より「**払込票**」(マルチコピー機)または「**申込券**」(Loppi)が出力されますので、
30分以内にレジにてお支払いください。

②お支払い後、**チケット**と**レシート**の2種類をお受け取りください。

「**取扱明細書**」(マルチコピー機)または「**取扱明細書兼領収書**」(Loppi)。



＊お支払い済みの入学検定料はコンビニでは返金できません。
＊お支払期限内に入学検定料のお支払いがない場合は、入力された情報はキャンセルとなります。
＊すべての支払方法に対して入学検定料の他に、払込手数料が別途かかります。

払込手数料(税込)	入学検定料が5万円未満	440円
	入学検定料が5万円以上	660円

3 出願

「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の
「収納証明書」部分を切り取り、
入試要項などの指示に従って郵送してください。

貼付する場合、「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載のある糊は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

【操作などのお問合わせ先】 学び・教育サポートセンター　https://e-apply.jp/　※コンビニ店頭ではお応えできません。

クレジットカードでの検定料支払方法

24時間・365日いつでも支払いOK!

クレジットカードを利用して検定料のお支払いが可能です。

インターネット申込 ～ クレジット決済

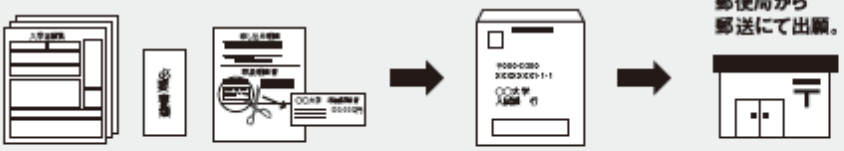
PCで下記にアクセス

https://e-apply.jp/e/gs-aoyama

1. トップページ	「申し込む」ボタンをクリック
2. 研究科選択	研究科を選択してください。
3. 入試選択	受験される入試を選択して「次へ」ボタンをクリック
4. 留意事項	留意事項の内容を確認・同意して「次へ」ボタンをクリック
5. 基本情報入力	申込者本人の基本情報を入力し「個人情報取扱方法」に同意し「次へ」ボタンをクリック
6. 申込内容確認	申込された情報を確認し、問題なければ「申し込む」ボタンをクリック
7. 受付番号確認	受付番号（12桁）を控え、「次へ」ボタンをクリック（登録されたメールアドレスにも通知されます。）
8. クレジットカード情報入力	支払に利用するクレジットカード番号（16桁）等必要な情報を入力し、「クレジットカードにて支払う」をクリック ＊お支払いされるカードの名義人は申込者本人以外でも構いません。
9. 決済完了	完了後に通知されるメールアドレスに記載のURLよりログインいただき、取扱明細書をプリントアウトしてください。 ＊メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号（12桁）」「（登録時の）メールアドレス」「生年月日」でログインしてください。

出願

印刷した「収納証明書」と必要書類を、出願用封筒に入れる。



【注意事項・よくあるお問合せ】

- ●出願期間を入試要項でご確認のうえ、出願に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- ●支払最終日は23:59までにカード決済を完了させてください。
- ●検定料の他に、払込手数料（税込）が別途かかります。
  払込手数料（税込）：30,000円未満…手数料 499円、30,000円以上50,000円未満…手数料 876円、50,000円…手数料 998円
- ●クレジットカードの名義人は、申込者本人以外でも構いません。但し、基本情報入力画面では、必ず申込者本人の情報を入力してください。
- ●メール通知が届かない場合は、TOPページの「申込内容を確認する」ボタンをクリックし、「受付番号（12桁）」「（登録時の）メールアドレス」「生年月日」でログインしてください。
- ●一度お支払された検定料は、出願後は一切返金できませんのでご注意ください。
- ●カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

「クレジットカードでの検定料納入」について不明点がある場合は、トップページの「はじめに」から「お問い合せ先」をご覧頂き、「学び・教育サポートセンター」までお問い合わせください。

注意事項

1．志願者自身が作成した文章を提出してください。人工知能等が自動生成した文章や他者が作成した文章の提出を禁じます。
2．二重学籍等
　本学学生は、他大学大学院及び本学の他研究科または他専攻、並びに他大学及び本学の学部と併せて在学することはできません。また、他大学大学院を修了または修了見込の者は、成績証明書及び修了証明書または修了見込証明書を提出のこと。
3．一旦受け付けた書類、入学検定料は一切返還しません。
4．受験票を紛失した場合は、速やかに学務課(042-759-6072)に電話して、指示に従ってください。試験当日に身分証明書を必ず持参してください。
5．受験者は試験当日、受験票とともにお送りする案内で受験教室や伝達事項を必ず確認してください。なお、受験中は常に受験票を机上に置いてください。
6．試験開始5分前までに試験場に入室してください。筆記試験については、自分の受験番号ラベルが貼付された机に着席してください。
7．試験開始から20分以上遅刻した者は、当該試験科目以降全ての受験資格を失います。
8．課された試験のすべてを受験する必要があります。なお、一科目でも欠席した者は、不合格とします。また、各科目の終了時間までは退室を認めません。
9．携帯電話等の電子機器類は試験場内では使用を禁止します。時計としての使用も禁止します。一般的な時刻表示以外の機能を持つ時計も使用できません。
10. 問い合わせ先は次のとおりです。但し、合否に関しては一切応じられません。
　（出願・受験・入学手続に関する内容）　　相模原事務部学務課社会情報学研究科担当
　　TEL　042-759-6072（ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）
11. 一般入試の出願資格１．に該当するもののうち「2024年3月卒業見込みの者」で合格し、入学手続を完了していても、2024年3月までに学士の学位を授与されない場合は、入学を許可しません。
12. 各種資格（司書教諭・司書・社会教育主事・学芸員）の取得に関する内容での不明な点については、出願前に学務課教職課程担当[042-759-6032（ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ）]に問い合わせてください。
13. 入学手続の詳細は「入学手続要項」を参照してください。下記は概略です。

第1次入学手続時
・誓約書（本学所定用紙）
・住民票または住民票記載事項証明書（外国籍の者は在留カード（外国人登録証明書）またはパスポートのコピー）
　（最近3ヶ月以内発行のもの）
・振込通知書（第1次入学手続用本学所定用紙）（銀行の収納印の押された大学院提出用）
・宛先記入ラベル2枚（本学所定用紙）（第2次手続書類郵送用）（学年初頭案内等郵送用）

第2次入学手続時
・写真　1枚（縦4㎝×横3㎝枠なし、カラー写真）（学生証作成用）
・学籍資料票（本学所定用紙）
・学生通学住所登録用紙（本学所定用紙）
・振込通知書（第2次入学手続用本学所定用紙）（銀行の収納印の押された大学院提出用）

※第2期合格者は、まとめて上記の入学手続書類が必要です。

14. 大学院入学試験に関する情報は本学ウェブサイト下記URLでお知らせします。
　https://www.aoyama.ac.jp/admission/graduate/

学校保健法で出席の停止が定められている感染症における入学試験の取扱いについて

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない者は、他の受験生への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。

但し、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。

学費等納入額の内訳について

2023 年度入学者用を参考として記載します。2024 年度入学者の学費等詳細については、合格発表後に発送する入学手続要項に記載します。

学費等納入額内訳（2023 年度入学者参考）

費　目		金　額	備　考
学費	入学金	※290,000円	入学時のみ(ただし、本学出身者は0円)
	授業料	275,000円	年額550,000円
	在籍基本料	40,000円	年額80,000円
	施設設備料	37,500円	年額75,000円
	教育活動料	50,000円	年額100,000円
	小計	692,500円	(ただし、本学出身者は402,500円)
諸会費	後援会費	2,500円	年額5,000円
	校友会費	◎30,000円	本学出身者は納入不要
	学会費	2,500円	年額5,000円
	小計	35,000円	
入学時納入金合計		727,500円	(ただし、本学出身者は407,500円)
初年度納入金合計		1,135,000円	

（消費税は課税されません）

※入学金は、本学学部卒業者・本学大学院修了者(見込み者を含む)が免除対象
◎印の校友会費は、退学、除籍の場合には、校友会本部事務局に申請し返還をうけることができます。

備　考

1．　第１次入学手続・第２次入学手続の納入金額について

第１次入学手続時　納入金額　290,000 円（※印の入学金のみ）
納入期限：2023 年 11 月 8 日（水）　（但し、本学出身者は 0 円）

第２次入学手続時　納入金額　437,500 円（入学時納入金額より第１次納入金額を除いた額）
納入期限：2024 年 3 月 1 日（金）　（但し、本学出身者は 407,500 円）

後期分学費等は、入学後、後期に納入してください。
なお、第 2 次入学手続時に後期分学費等を併せて納入することもできます。

2．第 2 期合格者入学手続金納入について

2024 年 3 月 1 日（金）までに一括納入となります。この際、後期分学費等を併せて納入することもできます。

3．学費等の改定について

今後、経済情勢に応じ学費等の改定が行なわれた場合は、在学生にも改定後の学費等を適用することがあります。

4．入学辞退について

本大学院の入学手続を完了した後（第 1 期合格者は第 2 次入学手続完了後）、やむを得ぬ事情により入学辞退することになった場合、入学金を除く納入金を返還いたします。詳しくは、合格者にお送りする「入学手続要項」をご覧ください。

青山学院大学・銀行提携「教育ローン」についてのご案内

本学には、学部生・院生を対象とした銀行提携「教育ローン」制度があります。
この制度は、青山学院と銀行が特別に提携し、一般の教育ローンより有利な条件を設定したものです。青山学院大学で学ぶ意志がありながら、経済的理由により修学を断念することのないよう、在学中の経済的な不安を解消し勉学に専念できるよう配慮した経済支援制度です。

〔特　徴〕
1. 一般の教育ローンより低金利で融資を受けることができます。
2. 在学期間中の元金返済措置の制度もあります（在学中は利息のみを支払い、卒業後、元利を併せて返済することができます）。

〔利用資格〕
本学に入学を許可された学生の保護者（または本人）で銀行の定めた資格を有することが必要です。

〔利用方法〕
1. (1) 「教育ローン」の利用を希望する場合は下記必要書類を整えた上で、事前に提携銀行で融資可能かどうかの審査を受けて下さい（審査には２週間程度の期間が必要です）。
（必要書類）
・資金使途確認資料　…　受験票、入学手続金確認資料（入学手続要項他）
（合格後に審査を受ける場合…学費納付書、学費受領証等（入学手続要項他））
・本人確認資料　……　印鑑証明書、住民票、運転免許証、健康保険証の写し等のいずれか一通
・所得確認資料　……　所得証明書、源泉徴収票等のいずれか一通
(2) 融資可能となれば合格証明書を提示して融資実行となります。
合格証明書発行部署：
文・教育人間科学・経済・法・経営・国際政治経済学・総合文化政策学各研究科は学務部教務課
（青山キャンパス１７号館２階）
専門職大学院は専門職大学院事務室（青山キャンパス１７号館２階）
理工学・社会情報学研究科は学務課（相模原キャンパスＢ棟１階）

2.入学時手続金等を自己資金で納入した後でも、一定期間内であれば融資を受けることができます。

〔注意事項〕
１．契約はすべて銀行と融資を受ける者が行い、融資は学費(授業料他)等の教育資金に限ります。
２．銀行による、大学以外の機関の融資ですから返済を考えて慎重に判断してください。
３．銀行によって、融資条件・金利等の契約内容に若干の差がありますので、契約する銀行に照会してください。

［取扱い銀行　代表お問合せ支店］
・みずほ銀行　全国の支店
・三井住友銀行　全国の支店
・三菱ＵＦＪ銀行　全国の支店

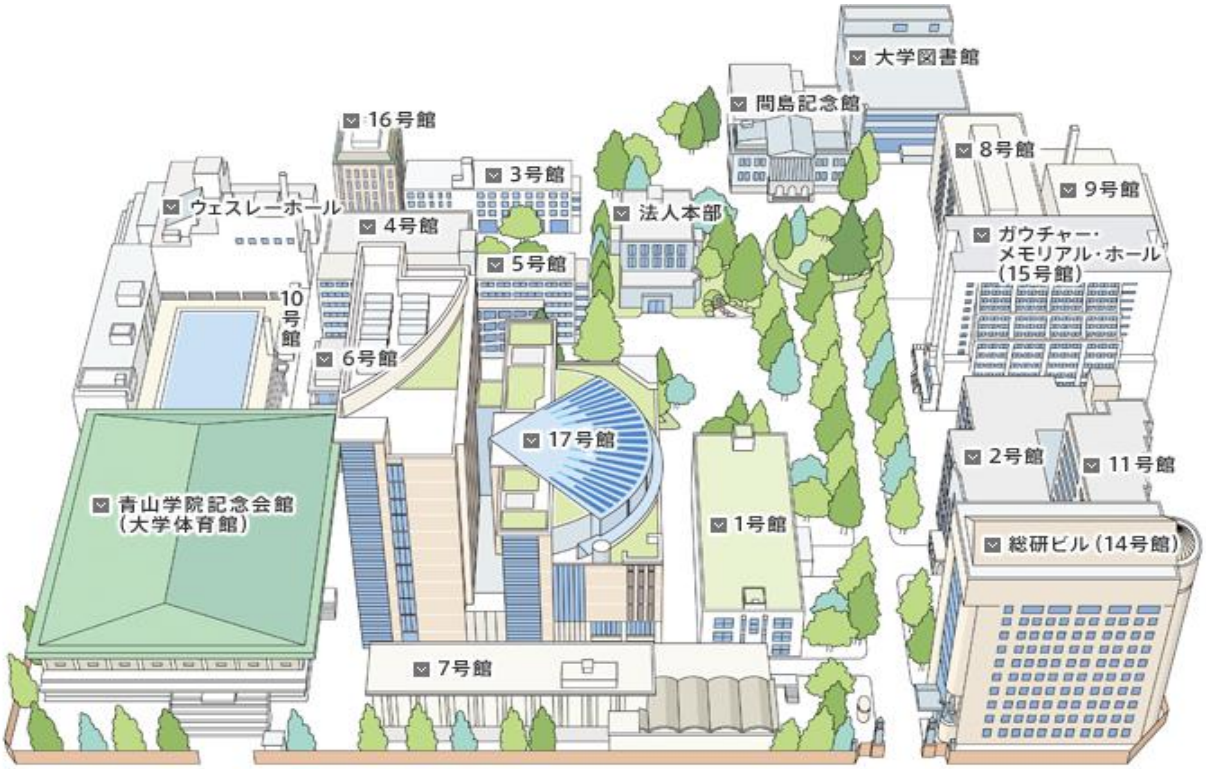
青山学院との提携以外にも下記記載の公共機関等による教育ローンもあります。
〔国の教育ローン〕
本学に入学・在学する学生・保護者の方は、日本政策金融公庫（国民生活事業）の「国の教育ローン」を申し込むことができます。
申込条件等の詳細については、教育ローンコールセンターに直接お問合せください。

・日本政策金融公庫（国民生活事業）教育ﾛｰﾝｺｰﾙｾﾝﾀｰ　℡　0570-00-8656　月～金 9:00～21:00
土　9:00～17:00
日本政策金融公庫（国民生活事業）ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html

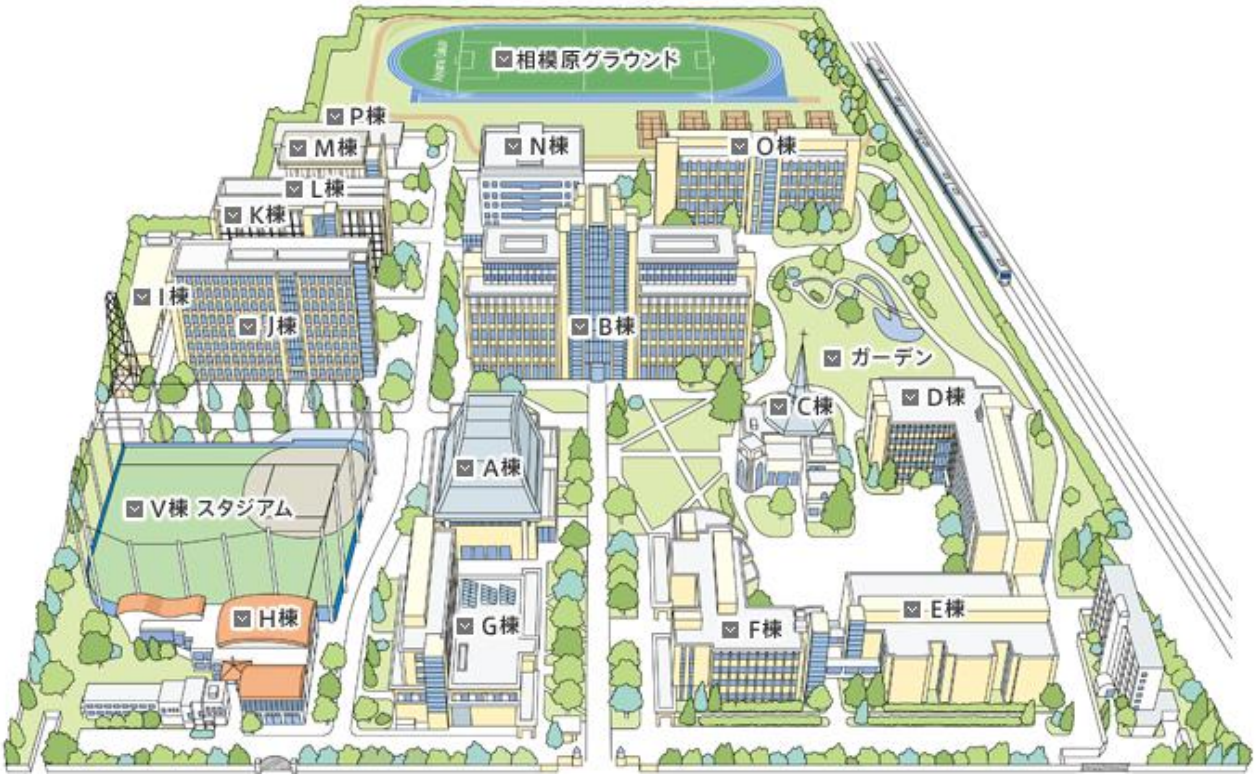
交通アクセス

緑が丘グラウンド
相模原キャンパス
青山キャンパス
池袋
上野
副都心線
京王八王子
立川
吉祥寺
新宿
JR中央線
東京
八王子
代々木上原
半蔵門線
分倍河原
明大前
青山一丁目
渋谷
表参道
橋本
調布
下北沢
千代田線
銀座線
京王線
渕野辺
登戸
品川
町田
溝の口
田園都市線
東横線
相模大野
JR横浜線
小田急線
長津田
武蔵小杉
新幹線
本厚木
中央林間
JR南武線
新横浜
小田急江ノ島線
菊名
JR東海道線
藤沢
横浜
川崎

JR山手線
明治通り
表参道駅
みずほ銀行
東京メトロ千代田線
銀座線・半蔵門線
B1出口
Max Mara
小原流会館
青山学院前
国連大学
骨董通り
アイビーホール
正門
東門(閉鎖中)
R246・青山通り
東京メトロ銀座線
半蔵門線・東急田園都市線
ビックカメラ
渋谷郵便局
青山学院
青山キャンパス
宮益坂
西門
GS
京王井の頭線
渋谷ヒカリエ
中等部門
渋谷駅
渋谷スクランブルスクエア
高等部門
中等部前
クロスタワー
六本木通り
渋谷警察署
交番
初等部門
初等部前


大学図書館
問島記念館
16号館
8号館
3号館
9号館
ウェスレーホール
4号館
法人本部
ガウチャー・メモリアル・ホール(15号館)
5号館
10号館
6号館
17号館
2号館
11号館
青山学院記念会館(大学体育館)
1号館
総研ビル(14号館)
7号館

JR淵野辺駅
横浜銀行
淵野辺
淵野辺駅入口
青山学院大学入口
東町
歩道橋
57
正門
コジマNEW
相模原店
青山学院大学
相模原キャンパス
東門
16
大野台郵便局前
八千代銀行
歩道橋
JR横浜線
國學院大學
グラウンド
カルピス相模原工場
中渕
トヨタカローラ


相模原グラウンド
P棟
M棟
N棟
O棟
L棟
K棟
I棟
J棟
B棟
ガーデン
C棟
D棟
A棟
V棟 スタジアム
H棟
G棟
F棟
E棟

地の塩、世の光

The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院スクール・モットー

青山学院大学大学院社会情報学研究科

〒252-5258　神奈川県相模原市中央区淵野辺 5-10-1

電話　042-759-6072（ダイヤルイン）

＜前期課程＞

青山学院大学大学院入学志願票

2024年度

入学試験種別（該当する入学試験種別を〇で囲む）	受験番号	※記入不要
一般入試　・　社会人入試		

課程・研究科・専攻・コース	入学試験期別（該当する入学試験期別を〇で囲む）
博士前期　課　程	第一期　・　第二期
社会情報学　研究科	社会情報学　専　攻
コース（該当する方を〇で囲む）　社会情報学　・　ヒューマンイノベーション　コース	

フリガナ	性別	本籍地	写真貼付
氏　名		都・道・府・県 （外国籍の場合は国籍を記入）	1. 4×3cm枠なし 2. 上半身正面脱帽 3. 最近3カ月以内撮影のもの 4. 全面糊付け 5. 裏面に氏名記入 6. カラー写真
生年月日(西暦)　年　月　日（　歳）			

現住所　〒　－

電話番号　（　）　携帯電話番号　（　）

学歴（高等学校以降のすべての学歴を記入すること）

高等学校（西暦）			年	月	卒業
大学	学部	学科	年	月	入学
大学	学部	学科	年	月	卒業・卒業見込

職歴（アルバイトの記入は必要ない）

（西暦）	年	月 ～	年	月　退職・在職
	年	月 ～	年	月　退職・在職

本学出身者は必ず下欄を記入してください。

学生番号									演習担当者又は指導教員	

氏　名	受験番号　※記入不要

◎下記すべての項目について必ず記入すること。（但し、論文を書いていない場合は題目の記入不要。）

卒業論文題目	

学部における主な研究内容

入学後の研究主題及び研究計画の概要

大学院説明会・個別面談等への出願前の参加有無 （該当する方を〇で囲む）	有　・　無

研究指導を希望する教員名 （要項に記載された教員1名）	

修了後の進路希望（具体的に記入すること）

2024 年度　社会情報学研究科博士前期課程（一般・社会人）
研究計画書

受験番号	※

※記入不要

入学試験種別	一般　・　社会人	フリガナ	
入学希望コース		氏　名	

↓本文はここから書いてください

第1期出願用
（博士前期）

社 情

振　込　金（兼手数料）　受　取　書

入学検定料

年　月　日				
金額	¥35,000−			
先方銀行	三井住友銀行　渋谷支店			
受取人	預金種目	普通預金	口座番号	８４０４５８２
	（学）青山学院検定（大学院B）			
御依頼人	様			
備考	手数料	円		

上記の金額正に
受け取りました。

〈銀行取扱期限日〉
2023 年
8 月　16 日

収納印又は
振替印

（取扱店→御依頼人（志願者））

手続者切取線

第1期出願用
（博士前期）

社 情

振込通知書（大学院提出用）

入学検定料

年　月　日				
金額	¥35,000−			
先方銀行	三井住友銀行　渋谷支店			
受取人	預金種目	普通預金	口座番号	８４０４５８２
	（学）青山学院検定（大学院B）			
御依頼人	様			
備考				

上記の通り
振込みました。

〈銀行取扱期限日〉
2023 年
8 月　16 日

収納印又は
振替印

（取扱店→御依頼人（志願者）→大学院）

取扱銀行切取線

第1期出願用
（博士前期）

社会情報

振込依頼書

科　目	

入学検定料

◎各欄の太枠の中だけボールペンでご記入下さい。

依頼日	年　月　日	電信扱	手数料		円
先方銀行	三井住友銀行 渋谷支店	金額	¥35,000−		
受取人	預金種目	普通預金	口座番号	８４０４５８２	
	ｶﾞｸ)ｱｵﾔﾏｶﾞｸｲﾝｹﾝｷｭｳｲﾝ(ﾀﾞｲｶﾞｸｲﾝﾋﾞｰ)				
	（学）青山学院検定（大学院B）				
御依頼人	打電CD	8	0	1	
	ｶﾀｶﾅ氏名				
	漢字氏名				
住所	（電話）　−　−				

〈銀行取扱
期限日〉
2023　年
8 月　16 日

※期限後の
取扱不可

収納印又は
振替印

※取扱銀行へお願い
FB処理をしていますので、打電CD・ｶﾀｶﾅ氏名
の順序で打電して下さい。

（取扱店保管）

手数料振込人負担

第2期出願用
（博士前期）

社 情

振　込　金（兼手数料）　受　取　書

入学検定料

年　月　日				
金額	¥35,000−			
先方銀行	三井住友銀行　渋谷支店			
受取人	預金種目	普通預金	口座番号	８４０４５８２
	（学）青山学院検定（大学院B）			
御依頼人	様			
備考	手数料	円		

手続者切取線

上記の金額正に
受け取りました。

〈銀行取扱期限日〉
2024 年
1 月　11 日

収納印又は
振替印

（取扱店→御依頼人（志願者））

第2期出願用
（博士前期）

社 情

振込通知書（大学院提出用）

入学検定料

年　月　日				
金額	¥35,000−			
先方銀行	三井住友銀行　渋谷支店			
受取人	預金種目	普通預金	口座番号	８４０４５８２
	（学）青山学院検定（大学院B）			
御依頼人	様			
備考				

取扱銀行切取線

上記の通り
振込みました。

〈銀行取扱期限日〉
2024 年
1 月　11 日

収納印又は
振替印

（取扱店→御依頼人（志願者）→大学院）

第2期出願用
（博士前期）

社会情報

振込依頼書

科　目	

入学検定料

◎各欄の太枠の中だけボールペンでご記入下さい。

依頼日	年　月　日	電信扱	手数料		円
先方銀行	三井住友銀行 渋谷支店	金額	¥35,000−		
受取人	預金種目	普通預金	口座番号	８４０４５８２	
	ｶﾞｸ)ｱｵﾔﾏｶﾞｸｲﾝｹﾝｷｭｳｲﾝ(ﾀﾞｲｶﾞｸｲﾝﾋﾞｰ)				
	（学）青山学院検定（大学院B）				
御依頼人	打電CD	8	0	1	
	ｶﾀｶﾅ氏名				
	漢字氏名				
住所	（電話）　−　−				

〈銀行取扱
期限日〉
2024　年
1 月　11 日

※期限後の
取扱不可

手数料振込人負担

収納印又は
振替印

※取扱銀行へお願い
FB処理をしていますので、打電CD・ｶﾀｶﾅ氏名
の順序で打電して下さい。

（取扱店保管）

①収納証明書

②振込通知書（大学院提出用）　　貼付用紙【入学検定料】

◎枠内（※は除く）を記入してください。

研究科 専攻	社会情報学研究科 社会情報学専攻	受験番号	※	
課　程 〇で囲む	博士前期・博士後期	志願コース	（博士前期課程のみ記入） コース	
フリガナ			電　話	（　　）
氏　名			携帯電話	（　　）

①「取扱明細書」または「取扱明細書兼領収書」の「収納証明書」部分を切り取り、はがれないように全面のり付けしてください。

①収納通知書貼付欄

はがれないように**全面のり付け**してください。

②金融機関にて必要金額を振込後、振込通知書（大学院提出用）をはがれないように全面のり付けしてください。
金融機関の収納印の無いもの、金額が訂正されたものは無効です。

②

振込通知書

（大学院提出用）

貼付欄

はがれないように
全面のり付け
してください。

宛先記入ラベル

□□□-□□□□

（住所）

（氏名）　様

研究科	コース

＜注意事項＞※ 宛先住所・氏名・志願研究科・コースを記入してください。
※ 宛先の「様」を「行」に訂正しないでください。

宛先記入ラベル

□□□-□□□□

（住所）

（氏名）　様

研究科	コース

＜注意事項＞※ 宛先住所・氏名・志願研究科・コースを記入してください。
※ 宛先の「様」を「行」に訂正しないでください。

簡易書留・速達料金分の切手を貼ってください。

速　達

２５２－５２５８

神奈川県相模原市中央区淵野辺5-10-1

青山学院大学相模原事務部学務課

社会情報学研究科担当　行

簡易書留　速達

「コース」「課程」「区分」「期別」は該当するものを〇で囲んでください。

差出人	志望	研究科	社会情報学
		専攻	社会情報学
		コース（博士前期課程のみ）	社会情報学 ・ ヒューマンイノベーション
		課程	博士前期 ・ 博士後期
		区分	学内選抜 ・ 一般入試 ・ 社会人入試 ・ 科目等履修生試験
		期別	第一期 ・ 第二期 ・ 科目等履修生試験
	住所	〒　　－ 電話　　（　　）	
	氏名	フリガナ	

≪注意事項≫

1．出願書類は募集要項で確認し、漏れのないよう点検してからお送りください。
2．郵便局窓口で簡易書留・速達扱いの手続をして郵送してください。
3．願書受付最終日を過ぎた消印のものは受理せず返送します。